

## 出初め式で新年の決意を新たに



勢ぞろいした団員たち



真剣な表情の団員たち

昭和村消防団（林公男団長）による出初め式が1月10日、役場で行われました。出席したのは、各分団員や役員らおよそ150人。

式典では加藤村長が「消防は災害から、尊い人命と貴重な財産を守り、村民生活の安全向上に大きな役割を果たしていただきます。今後も、消防活動に精進していただきます」と式辞。この後、林団長が「本年も、予防消防に徹していきます」と新年の決意を述べました。

## 諸田洋子さんが群馬県文学賞を受賞

このほど、入原下の諸田洋子さんが平成18年度群馬県文学賞を受賞しました。

この賞は県文学会議や県教育委員会などが主催。1年間の間に文学振興に貢献した人に贈られます。短歌や俳句、小説など7部門があり、諸田さんが受賞したのは、短歌の部。

利根沼田地区から受賞者がでたのは数十年ぶりだそうです。

諸田さんは、昭和村黒土短歌会やほかの短歌会にも所属しており、上毛新聞紙上の上毛歌壇にも投稿。月間賞を受賞したり、何度も入選したりと活躍しています。

今回の賞に応募されたのは、『生き甲斐』という30首からなる作品。諸田さんの歌集「月昇りくる」から選んだもので、介護の仕事をしながら感じたこと、感動したことを短歌にした

## 2老人会が筋力トレーニングを修了

赤城原老人会・森下老人会が行っていた筋力トレーニング教室が1月12日修了しました。

赤城原老人会は中級、森下老人会は初級をそれぞれ修了。合わせて54人が修了証を受け取りました。

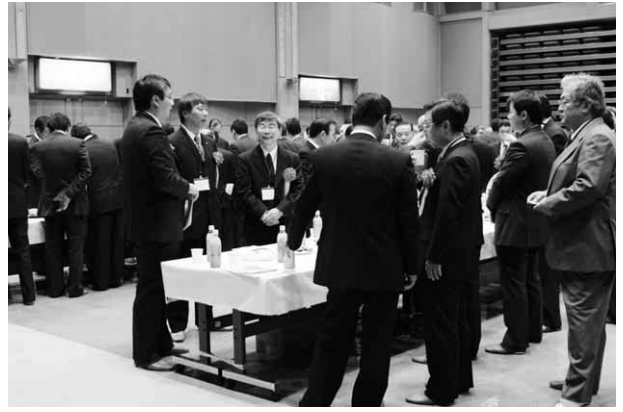
この筋力トレーニングは転倒予防を目的に、簡単ないくつかの運動を定期的に行うもの。初めは慣れない運動に苦労していた参加者も、だんだんと運動が楽になってきたようで、生活に必要な筋肉が鍛えられてきたのを実感していました。



森下老人会のみなさん



赤城原老人会のみなさん



和やかに歓談

# 平成19年新年賀詞交歓会を開催

新年を祝う平成19年新年賀詞交歓会が1月13日、村公民館多目的ホールで各種団体、公共機関、企業などから約160人が出席し、盛大に開催されました。



あいさつする加藤村長

交歓会は、加藤村長の主催者あいさつに始まり、治田村議会議長、高木県副知事からそれぞれ新年のあいさつが行われました。

つづいて、本村の産業経済の振興と発展の願いを込めて、村農業委員会会長の星野吉一さんの音頭で乾杯が行われ、会場は大きな拍手に包まれました。この後、出席された皆さんは年始のあいさつや和やかな歓談を行い、最後に金子副議長の三本締めで賀詞交換会が閉会されました。

## 委員長に金井さん、代行に綿貫さんが就任

1月18日付で村教育委員長に金井利司さん（赤谷）が選任されました。

同日付で村教育委員長職務代行者に綿貫征二さん（森下中）が選任されました。前教育委員長の倉沢つかささん（入原下）は、1月17日付で任期満了。これから、委員として活躍されます。

また、委員として活躍された高橋英一さん（常木）は、2月2日付けで任期満了了。  
新しい教育委員に野田敏夫さん（中宿）が選任されました。

### 前教育委員長



倉沢つかささん  
（入原下）

### 教育委員長



金井利司さん  
（赤谷）

### 新教育委員



野田敏夫さん  
（中宿）

### 職務代行者



綿貫征二さん  
（森下中）



おめでとうございます



諸田さんの歌集

作品です。

諸田さんは、「良い先生と良い仲間にも恵まれたから、このような賞を頂けたんだと思います。うれしいです」と受賞の喜びを語ってくれました。

諸田さん、おめでとうございませう。

『生き甲斐』より抜粋  
「よく笑ひよく手を引きし  
一日か施設出づれば月昇り  
くる」  
「目を細め夢見ることし特  
浴とふ椅子にかけたるまま  
の湯浴みに」